

はじめに

道路は、交通や空間に関わる多様な機能を持っており、市民の生活や社会経済活動を支える最も基本的な社会資本の一つである。

道路整備五箇年計画や社会資本整備重点計画等に基づく積極的な整備により、現在、一定の量的ストックが確保されている一方、過去に整備された道路については、改築・更新の時期を迎えているものも少なくない。

そのような中、特に市街地の道路については、少子高齢・人口減少社会の本格的な到来を背景として、従前にも増して、各種機能を十分に発揮し、地域の振興・活性化に寄与することが求められている。

平成 29 年 8 月に社会資本整備審議会・道路分科会から示された建議「道路・交通イノベーション～みちの機能向上・利活用の追及による豊かな暮らしの実現へ～」においても、多様な地域ニーズに応じて道路空間を最大限に活用するよう再構築を行うことの必要性が述べられているところである。

このようなことから、国土技術政策総合研究所 緑化生態研究室では、平成 26～28 年度にかけて、国内 100 箇所及び海外 10 箇所の先進事例を対象に、道路空間の再編手法に関する調査・研究に取り組んできた。

本書は、その研究成果の一つとして、主に道路管理者やまちづくり部局の行政担当者向けに、道路空間の再編を通じて地域づくりを進めていく際の手引きとなるよう、事業の構想・計画から維持管理に至る段階ごとの実施上のポイントなどをとりまとめたものである。

本書の構成や読み方については、この後の本文に記載を行っているが、行政担当者の皆さまには、本書を積極的に活用し、地域づくりを支える道路空間再編の取り組みを具体的に実践いただくことを期待したい。

最後になるが、本書のとりまとめにあたっては、下表に示した学識経験者の先生方からなる研究会を設置し、有益なご助言をいただいた。ここに記して、感謝の意を表するものである。

また、事例調査へのご協力や資料提供をいただいた多くの地方公共団体などの皆さまにも、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

平成30年 2 月

国土交通省 国土技術政策総合研究所
社会資本マネジメント研究センター 緑化生態研究室長
舟久保 敏

平成28年度 道路空間再編・利用研究会

伊藤 香織	東京理科大学	理工学部	教授
川原 晋	首都大学東京	都市環境学部	教授
崎谷 浩一郎	(有) E A U		代表取締役
野原 卓	横浜国立大学大学院	都市イノベーション研究院	准教授
羽藤 英二	東京大学大学院	工学系研究科	教授
福井 恒明	法政大学	デザイン工学部	教授
三浦 詩乃	横浜国立大学大学院	都市イノベーション研究院	助教

敬称略、五十音順、所属等は当時

